

早稲田社会学会ニュース 第27号

2006年4月7日発行

早稲田社会学会事務局

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学部 社会学研究室内

Tel: 03-5286-3742

E-mail: socio-office@list.waseda.jp

URL: <http://www.waseda.jp/assoc-wss/>

今回のニュースの内容

1. 第58回早稲田社会学会大会および総会開催のお知らせ
2. 本年度大会シンポジウムについて
3. 大会一般報告および『社会学年誌』第48号投稿の募集
4. 2006年度研究助成の募集
5. 第27回研究例会開催のお知らせ
6. 新委員のご紹介
7. 学会費納入のお願い

1. 第58回早稲田社会学会大会および総会開催のお知らせ

本年度の早稲田社会学会大会および総会が、2006年7月1日（土）に、早稲田大学文学部第一会議室において開催されます。シンポジウムのテーマは「文化の社会学の可能性」です。詳細につきましては次項「本年度大会シンポジウムについて」をご参照ください。一般報告などを含むプログラムの詳細につきましては、6月中旬にお知らせする予定です。

事務局では大会での一般報告を募集いたします。報告を希望される方は、第3項をご参照のうえ、事務局宛までお申込みください。

2. 本年度大会シンポジウムについて

テーマ：「文化の社会学の可能性」

報告者：伊藤守（早稲田大学）、長谷正人（早稲田大学）、佐藤郁哉（一橋大学）

討論者：若林幹夫（早稲田大学）

司会者：山田真茂留（早稲田大学）

<趣旨説明>

カルチュラル・スタディーズが隆盛を見たのは記憶に新しく、今でも文化に関する様々な学問的ないし評論的言説が巷に溢れているが、その一方で社会学的な文化研究の方はかえって空洞化したり安易化したりしているという問題も見受けられる。そこで本シンポジウムでは、こうした状況のなか、あらためて文化の社会学の今日的な可能性について問い直すことにしたい。

3. 大会一般報告および『社会学年誌』第48号投稿の募集

申し込みを希望される方は、以下の項目をA4の用紙1枚に記入し、事務局宛てに郵送又はE-mailにてお送りください。両方に申し込む場合には、それぞれ別の用紙で申し込みをお願いいたします。

大会一般報告、または『社会学年誌』第48号投稿、のいずれかを明記してください

- (1) 氏名
- (2) 所属
- (3) 郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス
- (4) 題目（副題を別として25字程度まで）
- (5) 内容概略（200～400字程度）

大会報告：申し込み締め切りは、5月22日（消印有効）です。

『社会学年誌』投稿：申し込み締め切りは、6月末日（消印有効）です。

原稿の提出締め切りは、8月末日（消印有効、郵送のみ受付）です。申込書提出後の題目、内容の大幅な変更は認められませんのでご注意ください。また、申込後に投稿を辞退なさる場合は、8月15日までにその旨を必ずご連絡下さい。なお、分量、書式その他、投稿規定については、『社会学年誌』の最新号（第47号）をご参照ください。

4. 2006年度研究助成の募集

これまでに当学会に寄せられた寄付金により、寄付者のご意思を尊重して、次の要項により会員各位の研究活動を助成いたします。

助成対象：早稲田社会学会の発展に寄与する研究活動

助成額：1件30万円程度を上限とする

助成を希望される方は事務局までご連絡ください。追って「申請書用紙」をお送りいたします。申請書の提出締め切りは、5月末日（消印有効、郵送のみ受付）です。なお、「早稲田社会学会研究助成取り扱い要領」の規定により、「助成の直前の年度まで継続して2年以上の会員歴がある」方が対象となります。また、研究助成を受けられた方には、学会大会一般報告（または学会誌投稿）により、その成果を報告していただくようお願いいたします。

また、この趣旨に賛同される方からのご寄付も募っております。寄付についてのお問い合わせは事務局までご連絡ください。

5. 第27回研究例会開催のお知らせ

第27回（2006年度第1回）研究例会が下記の要領で開催されます。

今回の研究例会は、本年度大会シンポジウム「文化の社会学の可能性」のプレ企画として開催されます。多数のご参加をお待ちしております。

日 時 : 2006年5月27日(土) 14:00-17:00
会 場 : 早稲田大学文学部(戸山キャンパス)第七会議室(39号館4F)
司会者 : 大貫恵佳(早稲田大学)
報告者および題目 :

石渡雄介(東京都立大学大学院)
「プリズムとしての文化:都市・サブカルチャー・ラディカルエスノグラフィー」
清水知子(筑波大学)
「現代英国における多文化主義と文化の論理」(仮)

6. 新委員のご紹介

昨年7月の役員交代に伴い、「編集委員会規約」「研究活動委員会規約」にもとづいて、次の会員(敬称略)が編集委員会委員ならびに研究活動委員会委員に選出されました。任期はいずれも2008年度の総会までです。

【編集委員】

大久保孝治(委員長、早稲田大学)	那須 壽(副委員長、早稲田大学)
伊藤美登里(大妻女子大学)	桜井 洋(早稲田大学)
榎本 環(武蔵大学、早稲田大学)	

【研究活動委員】

山崎哲哉(委員長、武蔵大学)	山田真茂留(早稲田大学)
澤口恵一(大正大学)	木村正人(早稲田大学)
大貫恵佳(早稲田大学)	周藤真也(早稲田大学)
菅原 謙(武蔵大学、中央大学)	

7. 学会費納入のお願い

今年度の学会費を、同封の「郵便振替払込書」にてお振り込みくださいますようお願い申し上げます(發送事務作業の都合上、今年度分をすでに納入されている方、および名誉会員の方宛てにも同払込書を同封いたしますことをお赦してください)。

年会費： 一般会員 5,000円 学生会員 3,000円

口座番号： 00100-3-38020

加入者名： 早稲田社会学会

新年度にあたり、ご所属・ご連絡先等に変更がありましたら、その旨を通信欄にお書き添えください。

会費を3年分以上滞納されますと、2000年7月8日の総会決議および2000年12月16日の理事会決議にもとづき、会員資格の一部が停止されます(次の3つの権利が失われます。①学会大会で報告すること ②『社会学年誌』へ投稿すること ③『社会学年誌』の配布を受けること)のでご注意ください。

以上